

授業概要

本講義は、臨床心理士やカウンセラー、公認心理師など、心理専門職者が行う心理的サービスとはどのようなものであるかについて理解することを目標に講義します。具体的には、心理専門職者の役割と義務、職業倫理、サービス受領者の安心安全の確保、インフォームド・コンセントなどの他、専門家として求められる基本的資質や態度についても関係資料の解説や討論などを行いながら、より実践的に心理専門職者の心理的サービスのあり方について理解できるように講義を進めます。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：授業の方針と受講者の心得について
第 2 回	心理専門職者の職務と法的根拠
第 3 回	心理専門職者の活動と職業倫理
第 4 回	精神医療にかかわる心理師の役割とスキル
第 5 回	精神科領域における心理師の業務と内容
第 6 回	学校教育領域における心理師の業務と内容
第 7 回	児童福祉臨床における心理専門家の立場と役割
第 8 回	(中間小テスト)
第 9 回	地域における心理支援：子育て支援と虐待防止
第 10 回	地域における心理的サービスの実際：地域精神保健
第 11 回	地域における心理的サービスの実際：コミュニティ援助
第 12 回	司法領域での心理職の仕事内容と役割
第 13 回	司法領域での心理専門職の役割：鑑定・擁護・矯正
第 14 回	産業領域での心理職の役割：職場のメンタルヘルス支援
第 15 回	産業領域における心理的サービスの実際：EAP とキャリア開発
第 16 回	期末試験

到達目標

1. 臨床心理士や国家資格心理専門職（公認心理師）の成り立ちを理解し、その社会的役割を自覚できる。
2. 臨床心理士や公認心理師の行う業務と活動の実際を理解し、説明できる。
3. 授業を通して、人々の福祉のために活躍・貢献するという高い意識を醸成する。

履修上の注意

1. 本講義は公認心理師を目指す場合の必須科目であることを十分理解した上で履修してください。
2. 事例等を活用した倫理問題なども扱うので、受講者にはしっかりとしたプライバシー保護の意識をもって受講することを期待します。

予習・復習

授業に際しては、予習のために事前に講義資料等を配布するので、それを学習した上で授業に臨むことを期待します。

評価方法

成績評価は、中間評価 30%、学期末試験 50%、授業内レポート 10%、受講参加態度 10%。

テキスト

授業では、各トピックに沿った資料を配付する予定であるが、より具体的かつ深く学習するために以下の参考書を紹介する。特に、心理専門職として理解しておくべき法律と倫理の問題を理解するために、参考書として「公認心理師必携 精神医療・臨床心理の知識と技法」医学書院、「公認心理師現任者講習会テキスト 2020年版」金剛出版をあげておく。